

心は明るく

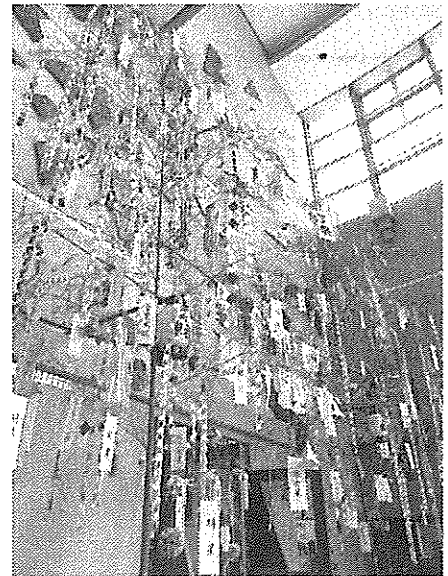
梅雨の時期です。事務室から見える空はどんよりとしています。しかし、雨に洗われた木々は生き生きとした緑色で、私たちの目を楽しませてくれています。

さて、姫路科学館は6月1日(月曜日)より、プラネタリウムのみ再開しました。感染症対策をしながらの通常営業です。また、友の会が運営しているミュージアムショップも再開しました。

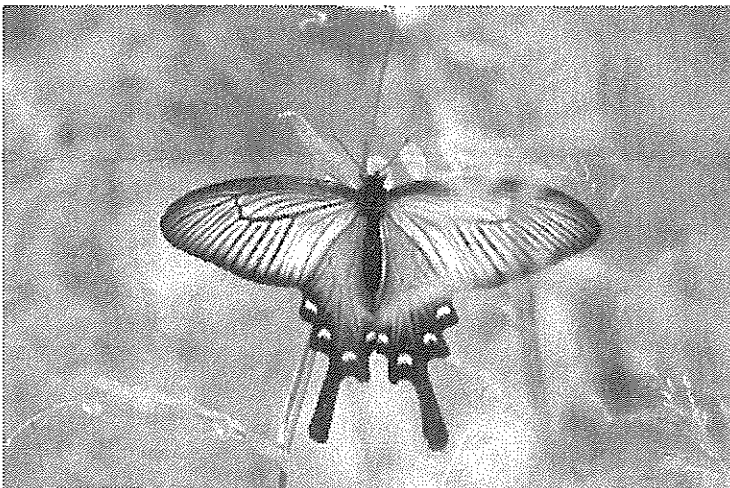
科学館が全館再開し、喫茶も再開して、皆様にお会いできる日を心待ちにしています。(友の会会長 上田倫範)

☆今年もエントランスに七夕飾りが登場致しました。

折り紙で輪飾りを作ったり短冊を作ったり…。色々な飾りがありますが、それぞれに願いが込められています。「短冊」に込められているのは、「学問や書道、習い事の上達」、「輪飾り」は、天の川を表すとも言われ、「皆の夢が繋がります様に」、「提灯」には、「辛い苦しいことがあっても、心を明るく照らしてくれる様に」だそうです。皆様の一番の願い事は何ですか？



館長の科学館だより



【ジャコウアゲハのメス】

平年より少し遅れて梅雨に入り、過ごしにくい季節となりましたが皆様方、お元気でお過ごしでしょうか？長らく休館させていただいておりましたが、6月1日より一部開館となりプラネタリウムをお楽しみいただける状況となりました。しかし、まだまだ予断を許さない状況ですので引き続き、予防対策を万全におこなってまいります。来館される際にはお手数ですが、予防対策にご協力をお願いいたします。気が

付けば季節が大きく変わり姫路科学館の周辺でもさまざまな生き物を見かけることが多くなりました。ホームページ館長のブログに動画をアップさせていただいておりますが、まだまだ撮りためたものもありますので、これからも紹介してまいります。その中で紹介しておりますジャコウアゲハですが、平成元年に姫路市が市政百年を迎え市蝶に制定され、市内の各地で保護活動がおこなわ